

1・1・車両の提供（1～2～3 か月程度の間）

車種：軽トラックもしくは、1～2 t のダンプもしくはトラック

用途：西原村 VC 南阿蘇 VC 等において、がれき撤去・解体中の建物から資材や私物、家具など取り出す作業に使用する。6 月中旬以降は、避難所などから仮設住宅などへの引越しの支援に使用する。仮設住宅等の建設状況にもよるが、7 月～8 月末頃までを見込んで

いる。

協力内容

- ① 資金確保：やまと災ボラ（READYFOR ファンドなど）
- ② 提供者を探す： 、 、 （ご紹介願いたい）
- ③ ①②の広報： 、 、 （各団体の HP や SNS などに掲載願いたい）

2・支援物資の提供（生活必需品等の提供）8 月～9 月ごろまでの間を想定

- ・団体で協力した方が効果的な物資を厳選する。
- ・調達や配送の方法等については、今後検討

3・事務担当、災害ボランティアセンター運営スタッフの派遣、8 月～9 月頃までを想定
（当団体は西原村災害ボランティアセンターへ支援協力しています。）

- ① 西原村 VC への派遣の継続：やまと災ボラ
- ② 西原村 (or 阿蘇村) VC の運営スタッフの派遣に向け募集を今後検討
- ③ 派遣費用、募集広報について今後検討

4・一般ボランティアへのサポート（宿泊等提供） 8 月～9 月頃までを想定

宿泊場所の紹介、あっせん（①やまと災害ボランティア管理物件 6 月末まで）

（②YMCA 熊本 ユースホステル）1 泊 3 食 5,000 円

上記受付：事務局（やまと災ボラ、 、 、 ）

5・夏休み学生向け災害ボランティアバス（熊本便）の運行

企画・資金確保：熊本・大分オンデマンド（提案事項のため今後検討）

7 月後半からバスとフェリーで被災地支援活動を行う。

広報： 、 、 k

6・熊本被災地への支援金等のため、募金活動を行う。

高校生団体などが募る募金活動への支援協力。（活動場所、活動、資金呼びかけなど）

具体的な内容は今後検討。

その他の方法でも YSV などの活動のため、募金を行う（協力者、団体等お願いしたい。）

7・上記活動を行うための支援事務局の設置（臨時、仮、など）

上記活動を円滑に進めるためには事務局が必要。県民センターにおいて、協力団体が輪番などにより事務処理（事務、メール対応、問い合わせ対応、会計手伝いなど）を行う。事務局のお手伝い者を募集しています。

8・看護師、介護士、保健師などの、福祉関連、健康関連の方々の派遣を行います。

専門の方々のご紹介をお願いしたい。

費用一部負担制度あります。 宿泊費、現地交通費など。

9・上記活動を行うために、資金の確保を行う。

実施主体や手法等、今後検討。



西原村災害ボランティアセンター会議にも参加しています。

被災地現地情報など、6月14日現在の様子など、宿泊場所等の情報など

南阿蘇村黒川地区（東海大学阿蘇キャンパス近くの学生寮が多いところ）

・衛生状態悪化の懸念

→何とか、冷蔵庫だけでも各倒壊家屋からの搬出を急ピッチで行えないか

→庫内に残された食品の腐敗、それに伴い凄まじい悪臭や害虫、伝染病の発生

→これから梅雨、夏本番および観光シーズンを迎えるので尚更

これらは、集落の集団移転のいかんに関わらず重要と思われる

・家財等搬出について

→特に、軽トラ等貨物車を持たない約半数のグループ（ほとんどが非・農業）において、家財搬出の支援が遅れている

→クルマの運転自体できない少数派についても同様

→車両、重機、人手等々、他のどの自治体よりも優先度は高い

→熊本市内や益城町で参加できなかったボラの方々に、黒川に回って頂けるとベストだが・・・

・その他

→災害廃棄物集積場について、段取りもスタッフの対応も悪く、極めて時間がかかる、イライラする、決して混雑していないが、2～3台ずつしか入れてもらえない

→運搬前に徹底的な分別が必要

→避難勧告が出ないかぎり、作業は行う

【宿泊先情報】 ←FB等掲載可と思われます。 <http://www.genkysquare.com/>

湯らっくす熊本店 西原村から車で約50分

熊本市ボラセン本部まで車で10～15分（渋滞考慮）館内および周辺に飲食店あり（なお、館内への飲食物持込は不可） 通常は宿泊2160円（入浴料・深夜料金含む、タオル・館内着・フトン付、外出不可）、入浴のみ590円ですが、災害ボランティアに参加した人に限り、宿泊は1080円（料金以外同条件）、入浴のみ無料となります。 県内であれば活動地域は不問で、活動証明書、現地で記名の名札等、災害ボランティア活動を証明できるものがが必要です。 いつまで実施するかは未定とのことです。



西原村災害ボランティアセンター 山西小学校サテライトです。



被災者の方々ともじっくり話し合い、支援活動を行っています。

一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク